会　　議　　録

会議の名称	平成３０年度　第１回小川町地域公共交通活性化協議会			
開催日時	平成３０年５月２４日（木） 開会時刻　午前１０時００分　　閉会時刻　午前１１時３０分			
開催場所	リリックおがわ　２階　会議室			
出席者	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	尾崎　晴男	副会長	高窪　剛輔
	委員	神宮　一雄	会長	山口　勝士
	委員	内田　　清	委員	岡安　和幸
	委員	小久保　文雄	委員	笠原　康司
	委員	小川　新一	委員	安野　育男
	委員	矢島　富男	委員	柳　　政男
	委員	山口　典夫	委員	小熊　和久
	委員	長南　克幸	委員	堀米　康史
	委員	田端　健二		
会議の議題	（１）平成２９年度事業報告及び決算報告について （２）監査報告 （３）平成３０年度事業計画（案）及び収支予算（案）について （４）平成３０年度業務委託について （５）その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	－			
傍聴人の数	２１名			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別紙のとおり			
事務局	都市政策課 都市政策担当			
議事の確定	確定年月日	平成３０年　９月２６日		
	記名 押印	役職名 会長　　尾崎　晴男　　㊞		

発言者	発言の要旨
	（1）平成 29 年度事業報告及び決算報告について 特に意見なし⇒全委員承認 **（2）監査報告** 特に意見なし⇒全委員承認 **（3）平成 30 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について**
内田委員	デマンドタクシーの利用状況をお聞きしたい
事務局	デマンドタクシーの登録者は、5 月 22 日時点で 4,329 名いる。利用実績は 4 月 1 日から 4 月 28 日の 28 日間で 1,974 件あり、1 日あたり 70.5 件となっている。仮にこの利用者数のペースで推移していくと、年間で 23,829 件になる見込みである。町の補助額は、4 月分で 1,444,150 円であり、このペースで推移すると、年間で 1,733 万円になる見込みである。
小熊委員	昨年の秋ごろから会議に出席している。昨年時点で熊谷路線の状況は厳しいとお伝えしてきた。乗客が 1 便あたり 6 人の状況である。また、運転士が不足して大変苦慮している。弊社にとって最善の選択は、当該路線を廃止し運転士を優良な路線に配置し、効率化を図ることである。それだけ追い込まれている現状がある。そのようななか、デマンドタクシーが運行されて 2 か月近く経過しているのにその影響をバス会社に確認していないことに疑問を感じる。路線バスの維持について本気で考えているとは思えない。
尾崎会長	今の発言を強く受け止めなくてはいけない。今年度からは、分科会にバス事業者も参加いただけると思うが、議論の状況に応じて協議会も開催できたらと思う。
事務局	デマンドタクシーによる路線バスへの影響を確認できなかったことは、申し訳なく思っている。路線バスの維持充実に向けてしっかりと取組んでいきたい。
山口(勝)委員	分科会は必要な時に開催できるということで良いか。そのような形でないと、委員として責任を果たせない。
事務局	分科会は積極的に開催していきたいと考えている。
尾崎会長	デマンドタクシー利用状況のデータを集計した各タイミングで開催していただく。

発言者	発言の要旨
小川委員	デマンドの年間負担が 1,730 万円と説明があったが、町の予算はどうなっているのか確認したい。
事務局	今年度の予算は、1,500 万円を計上しており、不足分は補正予算で確保すると昨年度の協議会でも説明している。運行開始から 2 年間は今の運行形態で実施し、状況により適切に見直すことも今まで説明した通りで考えは変わっていない。
尾崎会長	意見も一通り出たようなので、平成 30 年度事業計画（案）及び収支予算（案）については、承認いただくということで良いか。 ⇒全委員承認
事務局	**（４）平成３０年度業務委託について** 事務局としては、平成３０年度も昭和株式会社に業務委託をお願いしたい。理由は、平成２８年に策定した小川町地域公共交通網形成計画の策定から業務にかかわり、昨年度もデマンドタクシー本格運行等検討業務委託の業務に携わっていただき、本年度も４月からデマンドタクシー本格運行の利用状況分析や路線バスの維持・充実について取り組んでいかなければならないため、これまでの経過や業務に熟知している昭和株式会社様にお願いしたいと考えている。 特に意見なし⇒全委員承認
事務局	**(5) その他** 鉄道の維持・充実について報告する。平成 30 年 3 月に小川町駅にある東武東上線の 1 番線～4 番線ホームに、視覚障害をお持ちの方が駅を利用しやすいように内方線付き点状ブロックを東武鉄道株式会社様により整備していただいた。今年度は JR 東日本高崎支社様により、小川町駅八高線の 7 番・8 番ホームに内方線付き点状ブロックを整備していただく予定である。
山口(勝)委員	ワインまつりなどのチラシに、バス利用の内容が入っているが、事業者としての率直な意見を是非お聞きしたい。
長南委員	ワインまつりの会場が路線沿線にあたるが、非常に来訪客が多く、驚いている。

発言者	発言の要旨
小熊委員	路線上にこういったイベントを実施するような箇所がない状況だが、路線バスのイベントは積極的にやる必要があると考えている。他の市町村では、イベントを多くやらせてもらっている。
堀米委員	イベント時はバスを多くの方に利用してもらえ、利用のきっかけにもなる。時刻表などをチラシに掲載していただきありがたい。また、イベント以外の町内で開催される各種会議等の際にも、同様に実施していただけるとありがたい。
田端委員	先程事務局からデマンドタクシーの状況について報告があったが、乗務員・オペレーターに聞き取りした内容を報告したい。乗務員も高齢者が多く、利用者と同様に高齢者同士の中で運行しており、最初はとまどった部分も多かった。最近になり、利用者も慣れてきて、利用時間のピークも早まってきている。利用客に 50 分待ってもらったケースもあったが、夕方のタクシーの利用は少ない傾向にある。1 日あたりの運行回数については、最多が 110 回、最少が土日で 28 回となっている。七夕まつりの際は、経路を制限されるため、利用者に伝える方法を考えておかなければならない。
事務局	次回の協議会の日程は未定。近くなったら、連絡させていただく。 以上